

発 言 通 告 書

令和2年6月16日

松山市議会議長 清水宣郎 殿

松山市議会議員 梶原時義

次のとおり通告します。

発言順位	19	受領日時	6月16日 午前 11時 55分	2枚中 1枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 30分
答弁を求める者	・市長 ・農業委員会会長	・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	新型コロナウイルス感染症対策に関し、本市はこれまで本市の介護関連施設や従事者に対し、1円の支援も行っていない。第二波に備え、マスクや防護服などの感染防止対策備品の支援を即刻行うべきではないか。	5月の臨時議会において、私がこの件を質疑したが、市長は「介護事業者支援は愛媛県が当初予算で実施している」として、介護現場の実情を無視したやる気のない答弁をしたが、現状は介護従事者や要介護者が安心して介護が受けられるための感染防止対策用の衛生用品や備品は極めて不十分な状態である。
2	新型コロナ対策第4次補正予算案には、市場価格が低迷した花きや野菜を生産する農業者に対し営農継続の支援として現金給付が行われるが、それ以上に市場価格が低迷したと思われる漁業者にも支援を行うべきではないか。	今回のコロナ災害における農林水産物に対する市場価格低迷の影響は、「花き」や「野菜」などを生産する農業者だけではなく本市沿岸で底引き網や一本釣りを営む漁業者にとっても、漁業継続の大きな足かせになっており、農業者と同様な支援は不可欠である。
3	市民に多大な負担をかけている本庁の各種証明書発行を、短時間で交付するよう即刻改善していくべきではないか。	(1)本市はこれまで「たらい回しにされた」「何度も住所氏名を書かされた」などと市民から不評であった「死後の手続き」である死亡に伴う届け出の受付を「おくやみ窓口」として「死亡に関するワンストップ窓口」を本庁1階入り口正面に開設した。来庁した市民が受付シートに住所氏名や葬儀の日付などを記入すれば、後は担当者が決まった書式でパソコンに入力し、関連部署との確認作業を行って来て必要な15項目が一括で完了するというものだ。このように「お役所仕事」が改善されている部署がある中、未だに本庁の各種証明書交付窓口にお

